



2005年4月19日、カナダ政府は「カナダ国際政策綱領-誇りを持って世界に与える影響力」を議会に上程しました。これは、1995年以来初めて、世界におけるカナダの役割についての包括的な枠組みを示したものです。グローバルな役割の基盤を北米に置きながら、急激な変貌を伴う予想困難な世界に対応するカナダのビジョンが提示されています。

「カナダ国際政策綱領」 ハイライト

カナダ - 誇りを持って
世界に与える影響力

カナダの5つの国際優先課題

1. 安全保障の向上と繁栄の促進により、北米諸国とのパートナーシップを再活性化する。
2. テロ対策、破綻・脆弱国家の安定化、大量破壊兵器の拡散防止により、より安全な世界を築く。
3. カナダの競争力を強化し、通商関係を向上し、カナダ企業向けのサポートを提供することにより、繁栄を促進させる。
4. カナダの専門知識を共有してグローバルな統治改革と地域の統治能力向上を図る。これにより人権の尊重を促進し、真の開発を構築する。
5. グローバルな展開に対処する新しい多国間主義と柔軟性のある外交を目指す。

「カナダ国際政策綱領」 の新機軸

- 国際関係への統合的なアプローチ - 「カナダ国際政策綱領」は、「全政府」、「全カナダ」戦略を提示し、今日カナダが直面している国際課題への対応を図る。
- 世界におけるカナダの役割に再投資 - カナダの2005年度予算は、国際的な役割を果たすために大幅に増加される。今後5年間にわたり総計約170億カナダドルを追加し、グローバルな責任を遂行してカナダの国際的な地位を高めるよう図る。これは、在外公館における業務の有効性と機敏性の向上、国防力の増強、国際援助額の倍増、さらに国際経済関係の強化に向けられる。
- 地政学的情勢の変化の認識 - 「カナダ国際政策要領」は、カナダの国際政策において対米関係を筆頭とする北米関係の重要性を認識する一方、長年の友好的及び同盟的パートナーとの戦略的関係を継続しながら、グローバルな新興国との関係を深めなければならないことも認めている。
- カナダが直面している課題はますます複雑で相互に深く関連してきており、「国内外」の区別が困難であることを認識する。「カナダ国際政策要領」は、安全保障、開発、経済成長、環境の各分野における国内外のつながり、さらに包括的な対応の必要性を強調している。

「カナダ国際政策綱領」の要点

「カナダ国際政策要領」は、概要および4つ(外交、防衛、開発、通商)の政策文書から構成されており、それぞれの優先課題への取組みを実行する方法が概説されています。

外交

- 新しい手段により、カナダ国民の安全保障強化、および破綻・脆弱国家へのカナダの責任遂行を図る(例えば、新たに年間1億カナダドルの「世界平和・安全保障基金」を設け、和平安定化復興部隊(START)を支援して国際危機に迅速に対応する)。
- 新たな北米戦略により、カナダの国益をさらに推進し、大陸ネットワークを構築し、北米大陸の位置づけをグローバル競争力のあるものにする。
- 結果重視の多国間主義を重視し、新たなグローバル問題に取り組む。人権理事会の新設、平和構築委員会及び「保護する責任」イニシアティブなどの国連改革推進を支持する。
- 「全政府」戦略を展開して新たな影響力のネットワークを構築し、中国、インド、ブラジルなど、グローバルな新興国との連携を深め、拡大する。
- カナダ国民(特に国際的に活躍している国民)との協力体制を強化して、国際舞台におけるカナダの発言が明白で有力になるよう図る。

- 国際優先課題及び実績に関する年間報告書により透明性を向上させ、国際問題への取組みの重要性に対するカナダ国民の認識の強化を促す。
- 外務省の刷新により、世界各地の在外公館業務の再構築に重点を置き、新たな課題へ一層迅速かつ効果的に対応するよう図る。領事および査証業務の近代化を図り、在外カナダ国民に可能な限り最良のサービスを提供する。

国防

- 北米および国際的パートナーと共に、新たな脅威やテロ対策、破綻・脆弱国家への効果的な支援を図る。
- 統一作戦指令本部として「カナダ司令部(Canada Command)」をカナダ国内に設立する。
- 今後5年間にわたり130億カナダドルを増額し、カナダ軍の改革と拡大を図る。

開発

- 2010年までに、カナダの国際援助金を29億カナダドルから倍増し(2001-02年度比)、アフリカの援助については、2008-09年までに、2003-04年度の水準の2倍に、さらに2005年及び2006年に5億カナダドル増額する予定。
- カナダ国際開発庁(CIDA)は、良い統治、保健、基礎教育、民間セクター育成、持続可能な環境という5つの部門に援助の焦点を絞る。
- 2010年までに、カナダ国際開発庁は、二国間開発援助の少なくとも3分の2を25の開発途上国に供与する。

通商

- 北米、欧州、日本など既成のパートナーとの経済関係をさらに促進し、中国、インド、ブラジルなどの新興経済国との関係を構築する。
- カナダ企業に対し、科学技術のパートナー枠組み構築、航空路線の拡大、規制緩和、対外投資推進および保護条約の交渉など適切なサービスを提供し、企業が世界経済における競争力を高め、繁栄を推進するよう図る。
- 科学技術協力に対し、今後5年間にわたって2,000万カナダドルを充当。

「カナダ国際政策綱領」の全文は www.international.gc.ca にてご覧ください。同小冊子のご注文については enqserv@international.gc.ca (Eメール)、またはJane Perrin (電話:1 613-944-1486)までご連絡ください。